



寒空の中、元気にたすきをつなぐ

元気な走りに大声援

益城町小学生駅伝大会

11月11日、第17回益城町小学生駅伝大会が町民グラウンド西側周回コース16・3km全12区間で開催され、子どもたちが健脚を競い合いました。

沿道からは、保護者や友達など大勢が詰めかけ、子どもたちに手を振りながら大声で声援を送りました。

【大会の主な結果】

今回の駅伝には、町内各小学校から16チームが参加。

各チーム1年生から6年生までの男女合わせて12人が元気にたすきをつなぎました。

1位	広安西A
2位	益城中央スピードスター☆
3位	広安ヤンキース
4位	益城中央ファイターズ
5位	広安西B

チームワークで入賞獲得

くまもと障がい者スポーツ大会

11月3日、第11回くまもと障がい者スポーツ大会が県民総合運動公園多目的グラウンドで開催され、ペタンク競技で益城町チームが8位入賞を飾りました。

大会には、県内から65チーム269人が出場。本町からは、町身障連会長の馬場孝さん(市ノ後^{のだ せいとく}団地)をはじめ、野田正徳さん(市ノ後^{にししず})、西静雄さん(辻^お団地)、岩本博さん(南^{いわたもとろし})が出場し見事なチームワークを発揮しました。

入賞の報告に訪れた馬場さんは、「それぞれの選手がチームのために団結した成果。次回的大会も今回以上の成績が残せるよう頑張りたい」と抱負を述べました。



盾を手に入賞を喜ぶ馬場さん



細部まで丁寧に作られた作品

凝った作りに感嘆

木目込み人形教室作品展

町交流情報センターミナテラスで11月16日～18日にかけて、水上みなえ講師が指導する公民館自主講座「木目込み人形教室」(高木三代^{たか き み よ}代表)の作品展が行われました。

この手作り、人形は胴体に彫った溝に布地の端を埋め込んで、衣裳を着せたように見せる人形で、埋め込むことを「きめこむ」と言ったところから木目込み人形と呼ばれるようになりました。

ミナテラスロビーに干支のへびや日本人形、羽子板など色鮮やかな作品58点を展示。

訪れた人は「細かいところまで凝ってる」「色遣いがとてもきれい」と並んだ作品に見入っていました。